

# 青野沢川河川災害復旧工事（その1）

## 2015年11月 工事だより

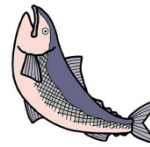
工期：2014年12月17日 ~  
2017年3月24日

### 工事進捗状況

工種	進捗率	備考
河川土工	42.0 %	掘削、盛土
護岸工	0.0 %	基礎工、法覆護岸他
排水工	0.0 %	水路、管路、柵他
付属構造物工	0.0 %	階段他
構造物撤去工	19.1 %	無筋コン、鉄筋コン
地盤改良工	0.0 %	地盤改良
樋門・樋管本体工	0.0 %	樋門・樋管4基
鋼橋上部	0.0 %	鋼単純非合成箱桁橋他
橋梁下部	0.0 %	橋台2基、場所打ち杭
構造物撤去工	0.0 %	旧橋撤去
仮設工	2.1 %	工事用道路、水替え他

### 今月のトピックス

10月下旬に気仙沼市大沢水系さけます増殖協会にて、青野沢川の鮭捕獲作業が行われました。メスの鮭は採卵用として畜養されるようです。



鮭の捕獲状況

### 施工状況



全景写真

青野沢川下流部の左岸側盛土は、ほぼ仕上がりが高さ（T.P.+8.0）まで達しています。

10tダンプトラックで土を運搬  
→ ブルドーザーで敷き均し  
→ タイヤローラーで転圧  
が一連の施工手順です。



ブルド-ザ-

タイロ-

盛土工



試験盛土

転圧回数を変化させて、盛土が最も締め固まる転圧回数を調べます。転圧回数が多すぎても過剰転圧となり良くありません。

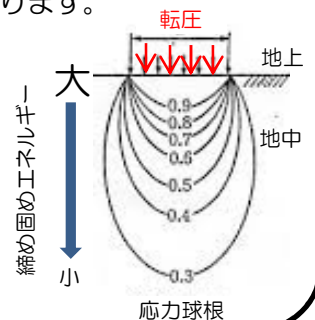
### 工事担当者から一言



工事担当 西村 直人

埼玉県出身の37歳です。  
宮城県での仕事は初めてですが、一生懸命がんばります。

右図は「応力球根」という考え方です。地上で転圧した締め固めエネルギーが、地中で球根のように伝わるため名付けられました。盛土厚さを厚くしすぎると、締め固めエネルギーが深部まで伝わりません。本工事では、試験盛土を行い、締め固め厚さを30cmで管理しています。



### 連絡先

事務所 住所：気仙沼市唐桑町出山240-5  
電話：0226-31-3201 FAX：0226-31-3510

人と地球の架け橋に

